PART3　Vが2つ以上ある場合・助動詞以外で表す使役形

＊ここまでに見てきたように、ＳＮＶＯは全てがそろっているとは限らないので、まずＳＮＶＯのうちのどれがあるか確認すること（Ｖの部分は絶対に省略されない→**まずＶを探す**）。

〔例題〕 次の「**使**」以外の各漢字の右横に、文の要素（Ｓ、Ｎ、Ｖ、Ｏ）の該当するものを書け。

(1) 王 **使** 臣 書 文。

(2) 王 **使** 臣 書。

(3) 王 **使** 書 文。

(4) **使** 書。

＊Ｖが二つ以上ある場合、使役がどこまでかかるか文脈判断する必要があるので注意！

(例) 王 使 臣 書 文 読 之。

王 使二 臣 書一レ 文 読レ 之。

王 使二 臣 書レ 文 読一レ 之。

②　使役を暗示する動詞を使ったもの

命ジテ
令シテ
召シテ
勧メテ
教ヘテ
遣ハシテ
説キテ
｝～V（シム）

禁ジテ
戒メテ
｝～不（レ）V（ラシム）

（例）**遣**（ハシ）二蘇武（ヲ）一、使（つかヒセシム）二匈奴（きょうどニ）一。〔蘇武を遣はし、匈奴に使ひせしむ。〕

（蘇武を匈奴へ使者として遣わせた。）

注　匈奴…中国北方の騎馬民族。
使…動詞「使ひす」。「使者とする」という意味。

③　本文中の他の箇所において、同一漢字の送り仮名に「シム」がついているときは注意。

問一　「王大イニ怒リ、使人殺中射之士。」の傍線部を書き下せ。

注　中射之士（ちゅうしゃのし）…宮中宿衛に当たる武官の侍従。

問二　「使公以馬殺人」をすべてひらがなで書き下しなさい（現代仮名遣いでよい）。

注　公…斉の君主、景公（けいこう）。

問三　次の文を「相（しょう）をしてこれを聘（へい）せしむ」と読めるように、返り点をつけよ（送り仮名は不要）。

使　相　聘　焉　。

問四　「令メヨ三君ノ婦ヲシテ為ニレ我ガ織ラ二縑（きぬ）百疋ヲ一。」を現代語訳せよ。

注　縑…絹の布。
疋（ひき）…織物を数える単位。

〈Memo〉

第6講　PART3　確認問題

① 「使㆔*公子馮出居㆓於鄭㆒。」は「公子馮（こうしひょう）を宋（そう）から出国させて鄭（てい）の国に住まわせた。」という意味である。読み方として正しいものを、次の中から選べ。

*公子馮…宋国の君主の子。

ア　公子馮を使はして出でて鄭に居るべし。

イ　公子馮を使はして出でて鄭に居らしむ。

ウ　公子馮をして出でしめて鄭に居るべし。

エ　公子馮をして出でて鄭に居らしむ。

② 「遣㆑将守㆑関。」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　武将を派遣して関所を守らせた。

イ　武将が関所を守る人を派遣した。

ウ　武将を派遣したが関所は守れなかった。

エ　武将を派遣するために関所を守った。

③ 「*大叔命㆓*西鄙・北鄙㆒、*弐㆓於己㆒。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

*大叔（たいしゅく）…人名。　*西鄙（せいひ）・北鄙（ほくひ）…西境と北境の地の人々。

*弐…ここでは、君主とは別の人物にも仕えることを表す動詞「弐す」。

ア　大叔は西鄙・北鄙の命により、己に弐す。

イ　大叔西鄙・北鄙に命じて、己に弐せしむ。

ウ　西鄙・北鄙大叔の命により、己に弐せしむ。

エ　西鄙・北鄙に命じて、大叔は己に弐す。

④「説＊夫差赦越」は「夫差（ふさ）を説得して越（えつ）の王を許させた。」という意味である。書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

＊夫差…人名

ア　夫差に越を赦（ゆる）すを説かしむ。
イ　夫差越を赦すを説く。
ウ　夫差に説きて越を赦さしむ。
エ　夫差を説きて越は赦す。

⑤「＊燕資（シ）レ＊之（ニ）以（テ）至（ラシム）レ＊趙（ニ）。」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

＊燕（えん）…ここでは燕国の文侯（ぶんこう）という人物を指す。　＊之…ここでは蘇秦（そしん）という人物を指す。　＊趙…国名。

ア　燕の文侯は蘇秦に資金を与えて趙に行かせた。
イ　燕の文侯は蘇秦に資金を用意させて趙へ行った。
ウ　燕の文侯は蘇秦とともに趙へ向かった。
エ　燕の文侯は蘇秦に会うために趙からやって来た。

第6講　PART3　解答

〔例題〕

(1) 王使臣書文。（王＝S　臣＝N　書＝V　文＝O）

(2) 王使臣書。（王＝S　臣＝N　書＝V）

(3) 王使書文。（王＝S　書＝V　文＝O）

(4) 使書。（書＝V）

問一　人をして中射の士を殺さしむ。

問二　こうをしてうまをもってひとをころさしむ

問三　使二相聘一レ焉。

問四　あなたの妻に私のために絹の布を百疋織らせなさい。

第6講 PART3 確認問題 解答

〔解説〕

① 「～させて」とあるので「使」は使役の助動詞「しム」。動詞は「出」と「居」の二つで、「使」はこの両方にかかる。使役の対象は「公子馮」、動作の目的は「鄭」。これらを使役の句形に当てはめて読めばよい。よって、エが正解。

② 使役を暗示する動詞「遣」を用いた使役の句形。「遣」は「つかハシテ」と読み、「派遣する」の意。動詞「守」は送り仮名に「シム」を補って読み、「守らせる」の意となる。よって、アが正解。

③ 使役を暗示する動詞「命」を用いた使役の句形。「命」は「めいジテ」と読む。動詞「弐」は送り仮名に「シム」を補って「弐せしむ」と読む。よって、イが正解。

④ 使役を暗示する動詞「説」を用いた使役の句形。「説」は「とキテ」と読み、「説得して」の意味。動詞「赦」は送り仮名に「シム」を補って「赦さしむ」と読み、「許させる」の意味となる。よって、ウが正解。

⑤ 使役を表す助動詞や動詞がなくても、送り仮名に「シム」がついていれば使役の用法となる場合がある。「至」＝「行く」に「シム」がついているので「行かせる」という訳になる。よって、アが正解。

〔解答〕

① エ　② ア　③ イ　④ ウ　⑤ ア